

第18回 立川市通学路安全対策検討委員会（若葉町地区）

日時：令和3年7月28日（水） 18:30～19:30

場所：若葉台小学校

出席者：広瀬委員（立川市シルバー人材センター）

井土委員（若葉台小学校校長）

杉浦委員（市学務課） 荒井委員（市学務課）

事務局：菅原（市学務課）

議事 1. 意見交換

- ・ 6月から7月までの振り返り（特に7月の交通ルール指導員の配置変更後）
- ・ 令和4年度 交通ルール指導員配置について

2. 今後の予定

第19回 通学路安全対策検討委員会（若葉町地区）

開催予定 令和3年度9月後半

1. 意見交換

○6月から7月までの振り返り（特に7月の交通ルール指導員の配置変更後）

前回の委員会で決定した交通ルール指導員の配置変更等を踏まえ、児童の登下校の様子について、意見を述べた。

- ・今のところ、登下校中の事故は起きていない。（前回の委員会で決定した）学校及び交通ルール指導員から児童への指導も効果が出ている。
- ・（新しい小学校ということからくる）児童の興奮状態は完全には落ち着いていない。
- ・交通ルール指導員からは、配置変更のことも含めて、特段意見は出ていない。
- ・若葉西通りと鈴木慶やすらぎクリニック方面からの道が交差する地点については、ヒヤリとすることはあるが、交通ルール指導員の指導により登校している。
- ・若葉台小西側T字路については、相変わらず交通量が多く、不安な面はあるが、通行する児童の数は少ない。
- ・7月15日に若葉ケヤキモールに入っているオーケーストアが開店したが、客足の多い時間帯と児童の登下校時間がかぶらなかつたので、少し安心した。若葉ケヤキモール側も誘導員の人数を増やしてくれていた。登校時、搬入口に入る貨物トラックが見受けられ、児童との接触のおそれが気になる。プロの運転手が運転しているということもあり心配は少ないが。注視していく。
- ・7月より交通ルール指導員を減員した箇所については、問題無し。
- ・府中道については、ポールの設置や歩行者スペースの拡大等を要望する声がある。

○令和4年度 交通ルール指導員配置について

令和4年度の交通ルール指導員の配置について、意見を述べた。

- ・今年度は若葉台小学校新校舎移転ということで、交通ルール指導員の配置を継続したが、今後も今のような配置を続けるのは難しいと思われる。児童が慣れてくれば、縮小すべきではないか。今後は、他の学校のようにシルバー人材センターの見守り活動やPTAの力を借りていきたい。
- ・交通ルール指導員の存在はたいへんありがたく思っており、学校も保護者も感謝している。もちろん、このままずっと続けてもらえるとは思っていないが、そもそも、子どもの安心安全のために市内の全小学校に交通ルール指導員を配置するという意見が教育委員会側から出てもいいのではないか。
- ・子どもの安心安全を実現する方法ということならば、（若葉台小のように）市が委託するという方が全てではない。
- ・交通ルール指導員の終了という話に対し、地域住民は納得しないのではないか。学校統合後、主に旧けやき台小学校区の児童向けに平成30年度～令和2年度にかけて交通ルール指導員を配置してきた実績がある。
- ・学校が統合して、来年度で5年目になり、両学区の一体感は出てきているのではないか。
- ・（来年度時点で）旧若葉小の児童が5年生と6年生に残っている。その児童達が卒業するタイミングで終了するのが適切ではないか。
- ・他の小学校とのバランスは考慮しなければならない。
- ・子どもの安心安全のためには、学校側の指導と地域の見守りに加えて、行政からの支援も大事で

議事要旨

ある。教育委員会は気概を持って、他部署への働きかけをしてほしい。

- ・地域の方々と協働していくという大きな流れがある中で、子どもの見守りも地域の方々に関わっていただきたいという願いがある。
- ・シルバー人材センターの見守り活動はこれ以上の拡大が難しい。老人クラブ連合会といった他団体との協働が必要になってくると思われる。
- ・交通ルール指導員より、下校時の見守りの時間が1時間半なのは長すぎるという意見が出ているので、来年度も配置するという事ならば、下校時の見守りは1時間で充分であると思われる。

2. 今後の予定

次回は9月後半の予定。

来年度の予算要求締め切りに近い時期なので、交通ルール指導員の配置について、今回の委員会での意見を踏まえた、教育委員会側の考えを示す予定。